

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	人的資源開発信託基金拠出金(平成24年度より「人的資源開発日本信託基金拠出金」に予算事業名を変更して実施)(任意拠出金)			担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度			担当課室	国際文化協力室		室長 長嶋伸治		
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令(具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	ユネスコとの書簡交換, 国連ミレニアム開発目標, 「万人のための教育」ダカル行動枠組み				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコによる途上国の人材育成支援を通じ、国際的開発目標である国連ミレニアム開発目標(MDGs)や万人のための教育(EFA)の達成に貢献する。同時に、ユネスコが得意とする途上国へのソフト支援を支援することで、裨益国との関係強化にも活用する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ユネスコに設置した信託基金を用いて途上国の人材育成プロジェクトを行う。プロジェクトの選択に際しては主にユネスコ側が案件提案を行い、当省との年次協議や提案書の検討を経て、日本側の目的(上述)及びユネスコ側の戦略的重点分野双方に合致する場合に事業を承認している。最近の主なプロジェクトの例は以下のとおり。 教育分野:「妊娠により退学を強いられた女子の代替的学习機会の提供(タンザニア)」, 「教育セクター発展のための能力形成(リベリア)」 科学分野:「総合水資源管理のための水教育」, 「人権と開発倫理のための大学プロジェクト(ホンジュラス)」								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	221	107	91	54	50		
		補正予算	—	—	—				
		繰越し等	—	—	—				
	計		221	107	91	54	50		
	執行額		221	107	91				
	執行率(%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	該当年度に我が国が承認した新規プロジェクト件数を指標とした。研修・ワークショップ参加予定者数を参考値として示す。			成果実績	件数	25件(うちワークショップ24件, 約11,000人)	25件(うちワークショップ20件, 約3,000人)	10件(うちワークショップ9件, 約3,000人)	9件
				達成度	%	100%	100%	111%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	該当年度に活動に進捗があったプロジェクト件数を指標とした(年次協議時のユネスコ側説明による)。			活動実績(当初見込み)	件	42件 (42件)	54件 (54件)	47件 (47件)	— ()
単位当たりコスト	9.1百万(円/件)			算出根拠	$\frac{91\text{百万円}}{10\text{件}} = 9.1\text{百万円}$ (平成23年度拠出額) (平成23年度承認案件) (1件当たりコスト)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	事業費	54	50						
	計	54	50						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		・裨益国側から様々な形で我が国の貢献に対する謝意表明や評価がなされている。 ・国連の専門機関であるユネスコを通じた途上国支援であり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		・実施期間の延長や予算使途の修正等が必要となる場合には、ユネスコ側から背景説明やプロジェクトへの影響を文書で提出させ、事前に日本政府の承認を義務づけることで適正なプロジェクト管理を図っている。 ・プロジェクトの実施に伴いユネスコが行う調達・入札業務は、国連システムの手続に則って行われている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		・本信託基金で支援している、人材育成や政策立案ノウハウの支援といったいわゆるソフト支援自体、国連機関・援助機関の中でも特にユネスコが得意とする分野といえる。 ・各プロジェクトの事業費のうち機材供与の比率には上限を設け、人材育成型事業の実施を確保している。 ・事業成果の活用という観点からは裨益国側の関与・関心が重要。署名式等への現地日本大使館の出席やユネスコからの報告を通じて裨益国側の反応や謝意表明等をモニターしている。裨益国側がプロジェクト費用の一部を負担するなど顕著な関心が見られる例もあり。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	・ユネスコ側の事業実施能力に特段問題はないが、アフリカ諸国で実施する事業が大半を占めているため、被益国側の理由（政変、治安の悪化等）によって事業が遅延する場合がある。そのため、年次協議等を通じてユネスコに対し、事業効果のみならず、事業実施のフィージビリティも十分確保できる案件を提案するよう要請している。 ・ドナーとしての日本のビジビリティを確保し、広報効果を高める観点から、プロジェクトの署名式（ユネスコ現地事務所と裨益国政府が実施計画書に署名する）に日本大使館のプレゼンスを設けるよう、多年にわたり年次協議等の際にユネスコ側に申し入れている。その結果、近年では大半のケースで大使や館員が出席するようになり、改善されてきている。 ・我が国のユネスコ関連選挙において本信託基金事業への謝意表明がなされる例もあり、ユネスコを通じた日本の貢献の好例として途上国で認識されていることが改めて確認された。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	拠出額減額			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
事業仕分け第1弾 事業番号2－50 評価結果：見直しを行う とりまとめコメント 第2WGとしては、更なる見直しを求めたい。重複の排除及び民間実施等の観点から、見直しを行っていただきたい。また、可能なものは国に返還することも行っていただきたい。なお、見直しの観点にあてはまらない拠出金については、見直しを行わないことにも留意して、新政権の下で具体的に精査を行う必要がある。 また、外交の目的は国益たることを前提として、効果や検証の仕組みをきちんと作るべきであり、体験談や印象による正当化では国費を投入する根拠にはならないという点も考慮して、検証・改善していただきたい。 最後に、いつまでこの拠出金を出し続けるかについても、戦略が見えていないことから、新政権の下でしっかりと議論を求めたい。				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0102	平成23年行政事業レビュー	0112	

個別事業名：

※平成23年度実績を記入

外務省
23年度拠出金：91百万円

[年次事業計画に関する協議、事業の審査・承認、大使の署名式等出席を通じた日本のレジリエンスの確保]



【外国送金】

ユネスコ事務局

[年次計画の立案、日本政府への事業提案、事業の実施及び日本政府への進捗状況報告、裨益国における事業広報]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

個別事業名：

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.. ユネスコ事務局			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	途上国における人材育成プロジェクト	91			
計		91	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユネスコ事務局	途上国における人材育成プロジェクトの実施	91	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					